



- ◆旬の農産物 出荷始まる
(かほく白ねぎ、ルビーロマン、加賀城下豆、くり大将)
- ◆ひやくまん穀現地講習会 開催
- ◆河北潟こまつな・高松ぶどう 収穫体験



「ほくの里」

支店フリーダイヤル

内灘支店 ☎ 0120-968-971
津幡支店 ☎ 0120-968-972
津幡東支店 ☎ 0120-968-973
宇ノ気支店 ☎ 0120-968-974
高松支店 ☎ 0120-968-975

「みんなのよい食プロジェクト」を推進しています。



発行/石川かほく農業協同組合
編集/リバノス編集局

石川県河北郡津幡町字清水子329番地
〒929-0326 TEL. 076-288-3331
月刊：毎月10日発行
印刷：宮下印刷株式会社

<http://www.kahoku.is-ja.jp/>



JA石川かほく 読者

ほくほくニュース

百トンの産地めざして かほく白ねぎ初出荷

J A石川かほく白ねぎ部会は七月二十六日、かほく市森の白ねぎ集出荷施設にて「かほく白ねぎ」の初出荷を行いました。今年の一月に設立された同部会は四軒の農家が三・一ヘクタールで栽培しており、部会設立後、初めての初出荷となりました。空梅雨により生育が心配されましたが、順調に育ち、山田大志部会長の圃場で収穫された百五十キロの白ねぎが運びこまれました。

翌二十七日には、金沢中央卸売市場で初めての初競りが行われ、一箱四千円の値で競り落とされました。

当JAは、今年度七月より白ネギ出荷調製機を導入。作業スピードが大幅にアップし、今までの倍の安定した出荷量を確保できるようになりました。西川一郎代表理事組合長は「砂丘地や水田転作用の土



初出荷を喜ぶ山田部会長

地を活用し、組織で白ネギ生産に取り組むことで生産者の所得向上に繋がる。機械の導入で市場への安定した供給を確立し、将来的には百トンの産地を目指していきたい」と話しました。

「かほく白ねぎ」は十二月末までに三十五トンの出荷を予定しており、JAグリーンかほくや県内のスーパーにて販売されます。

世界に広がる「ルビーロマン」 初出荷・初競り

高松ぶどう生産組合は七月十五日、かほく市夏葉の高松集出荷場で、石川県オリジナル品種ブドウ「ルビーロマン」の出荷を始めました。

初日は、生産者の架谷平治さんが四房のルビーロマンを持ち込みました。当JA職員によって糖度や色味、粒揃いなどが検査され、架谷さんの手で丁寧に箱詰め作業が行われました。糖度は出荷基準

十八度に対し十八・八度と、今年も糖度の高い「ルビーロマン」に仕上がりました。

翌十六日には、金沢中央卸売市場で初競りが行われ、かほく・金沢・加賀で出荷されたルビーロマン二百五十三房のうち「特秀Gクラス」一房に、前年を十万円上回る百四十万円の過去最高値がつけました。購入したのは台湾で三店舗のス



糖度を調べる当JA職員

ーパーマーケットを運営する神奈川県株会社社裕源。代表取締役社長の謝明達さんは「長い時間をかけて作られたルビーロマンは大きさも香りも良く、台湾でも有名。是非、台湾のスーパーで売りたい」と話しました。

当JA管内の出荷ピークは八月中旬となり、県内をはじめ東京・大阪市場での出荷を予定しています。

加賀城下豆初出荷

七月七日、河北潟干拓地の株式会社笠間農園のハウスで河北潟施設園芸部会の枝豆の初出荷が行われました。

初日は一軒の農家が枝豆を持ち込み、出荷量は百六十キロとなりました。

同部会は夏場のハウスの有効活用として枝豆を栽培して今年で六年目。昨年までは「河北潟えだまめ」として

出荷していましたが、県民に地元産の枝豆を手にとってもらいたいという想いから、金沢の城下町をイメージした「加賀城下豆」に名称を変更。黄金色を基調としたパッケージには石川県観光PRマスコットキャラクターの「ひやくまんさん」をプリントしました。

同園の笠間勝弘さんは「今年はさらにおいしい枝豆ができた。新しく生まれ変わった枝豆を多くの人に手に取



加賀城下豆をPRする生産者

ってほしい」と話しました。

「加賀城下豆」は寒暖差があり粘土質で栄養豊富な土壌の河北潟干拓地で栽培され、甘味と、袋を開くと広がるこぼしい香りが特長。八月下旬までに十四トンの出荷を見込んでおり、JAGグリーンかほくや県内のスーパーにて販売されます。

くり大將 出荷始まる

七月三十日、東部育苗センターにて当JA管内で栽培されたカボチャ「くり大將」の初出荷が行われました。二十五日より荷受けを開始し、初日は約六トンを出荷しました。出荷前の「くり大將」を手にとった生産者は、当JAのTAC担当者と共に、

改めて大きさや色などの出荷基準を確認しました。

当JAは第二次地域農業振興計画において、水稲と園芸品目の複合化チャレンジとしてカボチャを推奨。また、カボチャの共同乾燥や専用鉄コンテナによる出荷などを行い、生産者の作業軽減による省力化、資材コストの低減や複合化生産による農業者の所得増大に取り組んでいます。

現在、二十一名の生産者が五・四ハク



「くり大將」を確認する生産者と当JA職員

タールで栽培しており、昨年までは「えびす南瓜」を生産していましたが、今年から栗のようなホクホク感と甘味が特長の「くり大將」へと品種を変更。八月中旬までに約三十トンの出荷を見込んでいます。

ひ

やくまん穀現地講習会開催

七月十五日、「ひやくまん穀」の現地講習会がかほく市森と津幡町倉見の二会場で開催され、各会場合わせて約三十名の生産者が参加しました。

講習会では県央農林総合事務所職員が講師を務め、出穂前における追肥の効果について説明したほか、カメムシ対策における畦畔除草の徹底、玄米の胴割れを防ぐため熟熟期間中の水管理徹底など、今後注意してほしい点について参加者に説明しました。

石川県のオリジナル品種「ひやくまん穀」は今年でデビュー一五年目を迎え、昨年は株式会社ローソンの「金しゃりおにぎりシリーズ」にも採用され、中食・外食での利用も進んでいます。

参加者は今後の栽培管理について理解を深め、令和三年産米の品質向上と収量増加にむけて一層の強化に取り組みます。



苗の生育状況について説明する講師



現地講習会の様子と圃場（かほく市）

河
北潟こまつな
収穫体験

六月二十九日、内灘町立白帆台小学校三年生六十八名は河北潟にある株式会社笠間農園のハウスで小松菜の学習を行いました。

同園の笠間勝弘さんが農園や小松菜栽培について話すと、児童たちからは「ビニールハウスのひみつ」や「どういった思いや努力をして作っているのか」などたくさん質問がきました。

その後、ハウスの中に入り、普段作業に使用しているトラクタや



種まき機を見る児童

種まき機の使い方の方の説明を受け、実際に動かしている様子を見学。初めて見る機械に興味深々でした。収穫体験ではそれぞれがハサミをもち、小松菜を収穫。両手にいっぱいの小松菜をもった児童達は同園のスタッフのもとへ行き、袋詰め作業も一緒に行いました。

笠間さんは「児童たちが小松菜栽培に興味を持って、楽しんでくれたのでよかったです。来年もまた来てほしい」と話しました。



袋詰めをする児童

高松ぶどう収穫体験

七月一日、かほく市ニツ屋にある大田ぶどう園で石川県立看護大学一年生が二人一組でブドウの収穫体験をしました。園主の大田昇さんに教わりながら選別作業も体験。

六日には同市高松の喜多ぶどう園でかほく市立高松中学校一年生五十四名が同園の喜多吉博さんから収穫方法を教わりながら自分でブドウを収穫しました。

十九日には同市高松の今本ぶどう園でかほく市立金津小学校三年生十一名が一人一台のタブレット



収穫したブドウを食べる生徒



タブレットを使いブドウを撮影する児童



ブドウを収穫する学生

を持って収穫前のブドウの写真を撮り、記録に残しました。

夏の「さとやまマルシェ」

七月十七日、のと里山街道上り線、道の駅高松里山館イベント広場にて、夏の「さとやまマルシェ」が開催されました。当JAからは高松ぶどう生産組合、大崎園芸生産組合、JA石川かほく白ねぎ部会が「高松ぶどう」「大崎すいか」「かほく白ねぎ」をそれぞれ特別価格にて販売。猛暑の中、旬の農産物を買いたい多くの来場者で賑わいました。



おいしそうなおいそうなスイカを見つめる子ども達

大きな鍬を使って大豆の土寄せ

かほく市立大海小学校三年生十八名は六月二十五日、同市瀬戸町にある一・五アールの畑で同所の高崎武義さんと政勝さん兄弟の指導の下、味噌づくり学習二回目となる大豆の土寄せを行いました。

鍬を使うのが初めてという児童は「重いけど、楽しい」と話しながら、慣れない鍬で土を寄せました。九月には枝豆収穫体験が予定されており、児童達は次の作業を心



土寄せを行う児童達

待ちにしました。

勝利に届け かほくの特産品で応援

七月十九日、当JAは、スポーツで地域を盛り上げているかほく市のバレーボールチームPFUブルーキャッツの選手へ「高松ぶどう」と「大崎すいか」を贈りました。六月のVサマリーリーグ東部大会で優勝した同チームに対し、西川一郎代表理事組合長は「かほくの特産品を食べてもらい、さらなる活躍を期待します」と話しました。



スイカとブドウを持つ選手

農機・自動車 展示商談会開催

当JAは七月三十日と三十一日の両日、農機センター周辺にて、農機・自動車展示商談会を開催しました。

ICT技術を搭載した田植機が展示されていたほか、新型のコンバインにトラクタ、自動車においては軽トラックや普通車など多数展示。またJAグリーンかほく前の倉庫では、地元産のコシヒカリがお得に販売されました。



説明を受ける来場者

猛暑の中、ご来場いただき誠にありがとうございます。

家で簡単！楽しく！料理を

女性大学スマイルスクールの卒業生で構成する津幡支店「ひまわりの会」は七月二十日、当JA本店にて「ばっどと簡単！料理教室」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、午前と午後に分かれ、少人数での実施となりました。

厚生産業㈱の浅田哲也氏とジャコム石川㈱の方が講師を務め、コロナ禍、家でご飯を食べることが多くなった今、毎日のご飯を楽しく作れるよう、今が旬の色とりど



Aコープ商品を使ったレシピを紹介する浅田氏

りの夏野菜とAコープ商品を使った簡単アレンジレシピを教わりました。またリモートで長野県の伊那食品工業㈱高槻晃之氏による寒天を使った健康な体作りについての講義を視聴しました。

教わった料理はお土産として配られ、「家に帰ったら早速作ってみよう」と笑顔で持ち帰っていました。松本裕美同支店長は「コロナや暑い夏を乗り越え、皆さんと一緒に楽しめる企画を今後も考えていきたい」と話しました。



教わった料理を手取る受講生

組合員からの理事に関する 情報提供窓口の設置について

当組合の監事会は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）および当組合監事監査規程（第15条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話または封書にて下記宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

石川かほく農業協同組合 監事会

連絡先

- 住所 〒929-0326 石川県河北郡津幡町字清水チ329番地
- 電話番号 (076) 288-4179
- 部署名 監査室
- 受付監事 常勤監事 山下 充晃 宛

お電話の場合は、月曜日～金曜日、午前9時～午後3時をお願いします。

※当組合の業務に関する一般的な相談や苦情については、下記窓口を設置しておりますので、そちらをご利用ください。
※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

お客様 相談窓口

- 住所 〒929-0326 石川県河北郡津幡町字清水チ329番地
- 電話番号 (076) 288-3331
- 担当部署 総務課

- | | | | |
|-----------------|------|---------|---------------------|
| ◆金融に関するもの | 担当部署 | 金融共済部 | 電話番号 (076) 288-2323 |
| ◆共済に関するもの | 担当部署 | 金融共済部 | 電話番号 (076) 288-3914 |
| ◆営農・経済・販売に関するもの | 担当部署 | 営農部・経済部 | 電話番号 (076) 288-7555 |

この他、各支店・事業所で受付けております。

令和2年度 ディスクロージャー誌(情報開示)について

JA石川かほくの令和2年度における決算内容や事業内容について、情報開示を行います。

QRコードより
確認できます！





ご飯をおいしく 食事を楽しく

赤エビとキュウリの香味炒め

「天晴」のオーナーシェフ
永井 智一 氏



材料 (4人分)

赤エビ(塩を振って30分ほど置いた物) …………… 4尾
(A)
キュウリ(乱切り) …… 2本
エリンギ(さいの目切り) …… 2本
ピーナツ(砕いた物) …… 20粒ほど
トマト …………… 2個
サラダ油 …………… 大さじ1
塩 …………… 少々
こしょう …………… 少々

(B)合わせ調味料

豆板醤(とうばんじゃん) …… 小さじ1
料理酒 …………… 大さじ2
砂糖 …………… 小さじ2
しょうゆ …………… 小さじ2
酢 …………… 小さじ2
ごま油 …………… 小さじ1
おろしショウガ …… 小さじ1/2
おろしニンニク …… 小さじ1/2

作り方

- 1 フライパンにサラダ油を熱し、赤エビを入れ弱火で両面を焼き(片面4~5分ほど)フライパンから取り出す。
- 2 フライパンに(A)を入れ、塩、こしょうをして中火で2~3分炒める。
- 3 ①の赤エビをフライパンに戻し、(B)の合わせ調味料を入れ強火でサッと炒める。
- 4 ③を器に盛り付け、トマトをあしらひ出来上がり。

料理レシピ募集

ご家庭で簡単にできる、地物・旬の食材を使ったレシピを募集しています。投稿くださったレシピをリハノスやホームページで紹介したいと思っておりますので、皆さんのご自慢料理を送ってくださいね!
また、いろいろな食材の保存方法をご存知の方も、併せて募集しています。たくさんのレシピをお待ちしております。

募集方法 (封書でお送りください。)

1. 住所、氏名、電話番号
2. 料理名または食材名
3. レシピまたは保存方法 (簡単にお書きください。)
4. 一言コメント
5. 写真

宛先

〒929-0326 河北郡津幡町字清水子329
JA石川かほくりハノス編集局

*レシピが多い場合は、リハノス編集局で選定させていただきます。



仲良し夫婦

かほく市 箕嶋 隆・喜代子さん

私たち夫婦は、早いもので結婚して44年目を迎えました。結婚して間もなく、2人で家業のゴム入り細幅織物業を継ぐことになり、33年間力を合わせ頑張っていました。約10年前、主人の大病を境に残念ではありましたが廃業致しました。今は、3人の子供たちもそれぞれ独立し、日々成長していく孫の姿を見守りつつ、楽しく過ごしています。いずれコロナウイルス感染症が終息したら、若いころには叶わなかった共通の趣味、旅行を精一杯楽しみたいと思っています。



かほく市 中村 広美さん



現在、1.6アールのハウス半分を使い、夏には木耳、冬には平茸を栽培しています。定年後、食にまつわる事がしたいと思い、夫と一緒に大好きな茸の栽培を始めようと思ったのがきっかけです。

木耳は日本での生産者が少なく、ほとんどが輸入の乾燥木耳です。自然栽培と無農薬にこだわった生の木耳を、旬の時期に食べてもらいたいと思い、作っています。一般社団法人日本きのこマイスター協会が定めている「きのこマイスター」の資格も取得し、日々栽培に励んでいます。

今後はハウスを増やすことも考えており、木耳が将来、椎茸のようにスーパーに当たり前にあるような食材になることが私の夢です。



まもなく 初出荷



お米

緑が一面に広がった綺麗な田んぼも、まもなくお米の刈取り時期を迎えます。既に穂が出始めている「ゆめみずほ」は八月下旬、「コシヒカリ」は九月上旬、「ひやくまん穀」は九月中旬から始まります。

「ほくの里ライスセンター」にて自然に近い風でやさしく乾燥されたおいしい新米が秋にはJAGグリーンかほくなどで販売されます。



ほのぼの だより

うれし涙

今回は訪問サービスをご利用されている津幡町の小島さんとの出来事についてお話しします。

息子さんと二人暮らしの小島さんは八十八歳。以前はゴルフや旅行に読書、庭の手入れなど多趣味で毎日を楽しまれていました。しかし最愛の奥様が他界されてからは徐々に意欲が薄れていき、物事への関心も示されないことが増え、息子さんの声かけでは入浴も出来なくなっていました。デイサービスに通われていたのですが「行きたくない」との頑なな意思表示があり、通所の継続が困難になったことから訪問サービスが導入されました。

三回目の訪問まではお風呂場をご覧になっても「今は、いい」と入浴されず、ご要望にお応えできないことに心苦しい私たちヘルパーに対し、息子さんは「身体を拭

いて、着替えが出来ればいい。無理して入れるわけにもいかんし、気長にお願いします」と言っていました。



元気に過ごす小島さん

くださいました。

ところが四回目の訪問で湯船から上がる湯気をご覧になった小島さんが「風呂か」と興味を示され、声かけで入浴されたのです！洗髪もされ「気持ちいいな」と浴槽に二回浸かられ、ゆったりと過ごされました。入浴の爽快感を思い出してくれた小島さんに感謝し、息子さんとヘルパーはハイタッチをして喜び合いました。

後でケアマネージャーが教えてくれたのですが、感極まった息子さんから涙声で「今、お風呂に入っています。ありがとうございます」と電話があったそうです。

その後、時々が入浴されないこともありますが、ほとんどの日は気持ちよく入浴されています。これからも小島さんとご家族に寄り添いながらご自宅で生活できるように支援させていただきます。

サービス提供責任者

小川 和子



さあ作ろう！

家庭菜園

森田 恵子

秋野菜の手入れ

この原稿を書いているのは七月下旬ですが、我が家のさつまいもは七月初旬にイノシシによって全滅しました。せっかく焼き芋用に安納いもを植え付けたのに、今年の焼き芋は諦めました。憎らしい事に隣のさといもは無事でした。さといもは焼いてもおいしくないだろうな。台風によつて雨が降ると予報してくれました。風は遠慮しますが、雨は是非とも降らせてください。と言いながら日照り続きのなか水やりに苦労しています。なすも水が不足するとつや無し果になるのでせつせと水やりしています。

キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの管理

夏の間はじつと暑さに耐えていたキャベツ達も涼しくなってきたら、がぜん勢いを取戻します。この時期からコナガ・アオムシに注意しましょう。特にコナガは早めにセンター

リ顆粒水和剤の千倍液を散布してください。葉の表面についている菌をアオムシ類が食べると下痢を起こして死ぬのです。人間に害はありません。散布回数の範囲内で定期的に防除してください。黒いイモムシはカブラハバチの幼虫ですが、この農薬では防除できません。農薬を使いたくない場合は、寒冷紗や防虫ネットをトンネル掛けして防ぎます。我が家は寒冷紗で予防をしています。時には内側を我が物顔にモンシロチョウが飛んでいることもあります。トンネルは土でしっかりと押さえましょう。

アブラナ科野菜の害虫



昨年の我が家のだいこん、本葉十枚頃に中心の葉がクシャクシャになり中心葉だけが枯れる株ができました。中心の枯れ葉を取り除くとコロコロ

のイモムシが出てきました。ダイコンシンクイムシです。株としては致命傷ですが、成長点が複数できてだいこんは収穫することはできません。でもまとまないだいこんにはなりません。家庭菜園では一株でも欠株は致命的です。オルトラン水和剤千五百倍で防除してください。前記の黒いイモムシも防除できます。

キャベツなど結球後に球に食い込むように食害するのがヨトウムシです。この害虫は脱皮しながら大きくなり、大きくなると薬剤では防除が難しくなります。また球に食い込むと薬剤が害虫にかかりませんので、防除が難しくなります。センターリ顆粒水和剤の定期防除でなるべく小さい間に抑えましょう。

テントウムシのように固い殻を持つキスジノミハムシの被害を軽視してはなりません。親は葉を食べ、幼虫は根を食べます。固い殻にはまられて成虫には薬剤の効果はあまりありません。畑を耕すときにダイアジノン粒剤五やフォース粒剤を施用して幼虫の密度を減らすことが大切です。放置すると年々害虫の密度が高まり被害は拡大します。

たまねぎの種まき

五から十日に種まきをします。苦

土石灰でpH六・五に調整し、有機入り特A八〇一号を基肥にして丁寧に耕し、筋状にまきます。薄く土を掛け寒冷紗又は不織布をべた掛けして、ジョウロでかん水し、発芽まで乾燥しないよう水やりをします。我が家では極早生種と晩生種の二種類の種をまきます。今年は多めに種をまく予定です。

はくさいの植え付け

苗は上旬には植え付けを終えましょう。遅くなれば玉の肥大が悪くなることもあります。植え付け後の活着の良否でその後の生育に差がでます。涼しい夕方に、植穴に水をやり、スタークル粒剤を二グラムまき丁寧に植え付けます。株のまわりにもみ殻をまき保水と雨による泥はねを予防します。



猛暑があたりまえになって、野菜は年々作りづらくなりました。家族の笑顔を思い浮かべながら、汗を流しています。オリンピック選手の舞台は競技場、私の場合は畑。

秋まき草花と非耐寒性葉植物について

土屋 照二

前、前々月には秋まき草花の早まきについて取り上げました。今月は他の秋まき草花のタネまきについて書きます。また非耐寒性植物の秋挿しを取り上げます。

◆秋まき草花のタネまき

秋まき草花の多くは八月下旬～九月上旬がタネまきの適期です。秋冬に向けての栽培は温度は低下していく時期ですので、作業の遅れは大きな成育の遅れにつながります。タネまきは早めに行い、遅くとも九月上旬までに済ませます。



図1

しかし、スイートピーやチドリソウ(図1)とヒエンソウ(デルフイニウム)は十月下旬以降にまくほうが良いでしょう。前者は大苗で耐寒性が劣り、後者は発芽適温が低いからです。

カルセオラリア、ジレネ、ロベリア、プリムラ類、ロベリア等光好性種子(発芽に光があるほうが良い)や微細なタネは覆土(土か

け)をすると多くの場合発芽が劣ります。タネまき後は覆土をせず、乾燥を防ぐため鉢まきでは受け皿を用い、セルトレーなら受トレにプラスチックフィルムを敷いて水を入れ底面給水を行います。発芽してきたら頭上かん水に切り替えます。底面給水が長引くと過湿のため根腐れを起こします。覆土をするかしないかはタネ袋の説明で確かめると良いでしょう。



図2



図4



図3



図5

リゼーションは一定以上の大きさになつて低温に遇う必要のある植物です。ルナリア、ストック、フウリンソウが挙げられます。フウリンソウは十分大苗になつてから冬越しすれば開花します(図2)が、小苗で冬越しすると開花せず、葉だけが根元で繁つて(図3)、開花は翌年になります。ルピナス(図4)やジギタリス(図5)もこの性質を持っていると考えられます。一方、吸水したタネの時期から低温に遇えば開花できる種子バーナリゼーションという性質を持った植物があります。スターチス・シヌアータがその例(図6)で、左は五葉期の夏に低温に遇わせたもので開花していますが、右は無低温で開花していません(図は冬の低温で花が始め)。ちなみに野菜ではタマネギ、

みに野菜ではタマネギ、キャベツが植物体、ダイコンが種子バーナリゼーションです。タマネギ苗を大きくしすぎて春にネギ坊主だらけという経験



図6

をした人もいるでしょう。草花では花を咲かせることが目的になりますので、植物体バーナリゼーションのものは早めにまくか、肥培管理をしっかりやって大苗に育てます。

スイートピーやルピナス等豆の仲間、ケシ類、デルフイニウム、ネモフィラは移植を嫌いますので、二・五号ポット(図7)スイートピー)か二八穴以下のセルトレーにまいて育苗してから植え替えると良いでしょう。



図7

◆非耐寒性植物の秋挿し

観葉植物等の非耐寒性植物を栽培している人も多いと思います。大きく育つて冬に室内に持ち込むのが難しい場合もあるでしょう。こんな場合、切り詰めて株を小さくして持ち込みやすくするという方法がありますが、小さな枝や蔓を採って小鉢に挿し木して作った苗で冬越しすることもできます。温度がまだ高い、また発根後に十分根が張れる九月前半までに挿し木しましょう。

お便り OTAYORI コーナー

いつも楽しみにしています。田んぼの草刈りに頑張っています。ビールが飲みたいー!!
津幡町 松田 静雄
ご愛読ありがとうございます。梅雨も明けて夏本番がやって来ましたね。草刈りで汗をかいた後に飲む1杯はどんなにおいしいことか…。草刈りも頑張れますね!

毎月必ず頭の体操としてクイズを楽しんで行っています。だが、どうしてもわからない問題があります。家庭菜園の記事も参考にしております。
津幡町 水野 道代
クロスワードクイズは答えが分からなくて手が止まってしまう時もありますよね。難

しい問題もありますが、新しい知識が増えることは良い事です。

家庭菜園でキュウリが採れるようになったのは嬉しいのですが、毎日食卓に。俺はキリギリスじゃあないんだが…。キュウリの変ったレシピを紹介して下さい。キュウリのQちゃん風佃煮は絶品です。

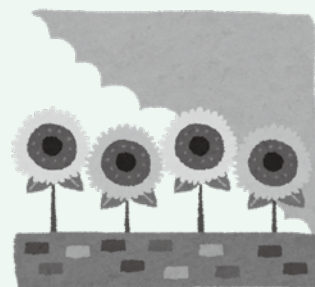
かほく市 能任理一郎
絶品だというキュウリのQちゃん風佃煮はいったいどんな味!?是非、レシピを教えてください。今月号の料理レシピのコーナーでは、キュウリのレシピを紹介しています。この暑い夏を乗り切るピリ辛の一品もいかもしれませんね。

友人がクイズに当選していると私までうれしくなっちゃいます。

かほく市 東中千代枝
クロスワードクイズの当選者の他にも、俳句やお便りコーナーなど知り合いの名前がないか探してしまいますよね。お会いした時には、「載ってたの見たよ」などと声をかけてみると喜んでくれるかもしれませんね。

作物作りの新米なのでドシドシ参考記事を載せて下さい。孫がイネの苗をもらってきて、1本のイネを育てています。

かほく市 松本 恵子
道路を走っているとイネが生長していて緑色に広がる田んぼがとても綺麗です。お孫さんと一緒に愛情込めて育てていらっしゃる1本のイネもきっと立派に生長しているのでしょうか。



その他、たくさんのお便りが届いています。紙面の都合上、全員の方のお便りを載せることができない場合もございます。ご了承下さい。実名で載せさせていただいておりますが、匿名希望の方は明記してください。お便りをお待ちしております。

<お便りのあて先>
〒929-0326 河北郡津幡町字清水チ329
JA石川かほくりパノス編集局

川柳

石本よし一選

題「進」

●秀
進化するビル屋上の野菜畑
岡井 昭江(二ツ屋)

評 ビルが乱立する大都会で、ふと発見をした野菜畑。ビルの屋上にも野菜が育っている。都市砂漠も、緑が恋しくて、樹木を植えたり、野菜を育てたり、癒やしの空間を作るのに工夫がされている。技術の進歩によって、都会には野菜を作る工場も作られている。ビルの屋上と言う空き地で、太陽をいっぱい浴びた野菜畑はすばらしい。

佳作

法要の精進料理祖母徳が

山崎 洋子(横浜)

進むのも戻るのもつらい老いの坂

藤沢 充子(瓜生)

断捨離が進まぬ老いのモッタイナイ

加藤 秀子(五反田)

菜園の野菜で宿漬(け進む)

松村小夜子(岩崎)

進む先不安渦巻く日本丸

吉田 順子(川尻)

入選

浅漬の茄子の紫紺に進む食

古林 照子(長柄町)

ワクチンの進歩を阻む変異株

兼保 直美(瀧端)

進まないコロナ接種に腹が立つ

長谷川恵子(市谷)

人生は努力なくして進まない

堂川 武久(領家)

進まない思案ばかりのお片づけ

松田 妙子(浅田)

ワクチンを進んで受けるお年寄り

洲崎 昭子(太田)

進化するスマホ社会に追いつけず

井田 宏子(井野内)

進物に頭悩ますこともある

宮本由紀子(宮坂)

世の中はITスマホで進化する

田村 悦子(大根布)

運動会進行務める孫立派

澤本 昭子(内日角)

少年の進路大きな夢がある

前山優美子(太田)

細い路地進入して来る選挙カー

二羽トモ子(南中条)

ボランティア進んで参加若いうち

越野 郁夫(二ツ屋)

野菜園草より先に伸びてくれ

藏本 義弘(横浜)

勝ち信じ進めとラッパ悔いる今

村田 由枝(竹橋)

かたつむりゆっくり進む雨模様

瀬戸 恵子(二ツ屋)

進退を惜しまず決めて清々し

永下 茂和(坂戸)

過疎進む村に豊かな稲の風

福田 貞子(岩崎)

十一月号題 「長」三句マテ

●縮切り 九月十日必着

十二月号題 「生」三句マテ

●縮切り 十月十日必着

▲投句先

〒929-0326 河北郡津幡町字香堤寺ワ三

石本よし一宛

※投句の際、住所・氏名をお書き忘れのないようお願い致します。

老人性難聴

健康科学アドバイザー 福田 千晶

九月二十日は敬老の日です。元気に年齢を重ねられたお年寄りが増えていきます。しかし、加齢に伴う体の機能が衰えることがありま
す。自覚しやすいのは「老人性難聴」、つまり加齢以外に原因がなく耳が遠くなる現象です。

老人性難聴は、耳にある音を感じ取る細胞の数が減少したり、細胞の機能が低下したり、音を聞く神経に衰えが生じることで、聞こえが悪くなると考えられています。特に高音部の音から聞こえにくくなります。低い音でゆっくり話すと聞き取りやすく、コンコン話す内緒話は聞き取れてしまうので「年寄りの地獄耳」などと表現されるのでしよう。

老人性難聴の特効薬はありませんが、補聴器の使用で聴力を補う方法があります。軽症のうちから聴覚刺激を入れておく方が、進行の予防になるともいわれています。家の中での生活ではあまり支障がなくても、広い農地では少し離れた場所にいる人の声が聞こえないと不便なことがあります。早めに耳鼻科の医師や補聴器販売店に

相談し、農作業中でも使いやすい補聴器を使用することをお勧めします。声や音ではない動作での合図を決めておき、農作業中のコミュニケーション手段にすることも一案です。

家族や周囲の人々は、高齢者との会話では、落ち着いた低めの声でゆっくりはつきり話すように留意しましょう。BGMなどの音と会話の音が重なる聞こえ取りにくくなるので、大切な会話のときはテレビなどを消して、他の音が重ならないように配慮すると良いでしょう。自動車運転のときも、ラジオや音楽はつけないで、交通関連の音や運転に必要な会話だけに集中すべきです。

老人性難聴の決定的な予防法はありませんが、栄養バランスの取れた食事、適度な運動を心掛けることは予防につながる可能性があります。



スマイルスクール

地産のフルーツを知ろう

9期生

女性大学スマイルスクール9期生23名は7月14日、かほく市気屋にて第15回講座「地産のフルーツを知ろう」を受講しました。新型コロナウイルス感染症対策により講座を2班に分け、少人数で行いました。

はじめに石川県農林総合研究センター砂丘地農業研究センター所長の池野明夫さんが砂丘地の特徴を生かした農業の研究について説明しました。説明後は同地区にある種本ファームのブルーベリー園に移動し、収穫体験を実施。受講生は青紫色に大きく実ったブルーベリーに感動し、色々な種類のブルーベリーを食べ比べしながら楽しみました。最後に、農事組合法人高峰ファーム代表理事の種本博さんより地域の皆さんとの農業活動や女性の活躍についてのお話を聞きました。受講生からは「かほく市に住みながら地域の事を何も知らなかった」との声があり、農産物を生かした地元の取り組みに刺激を受ける講座となりました。



ブルーベリーの収穫体験を楽しむ受講生

新着情報

ほのぼののデイサービス

コロナ収束の願いよ、届け!!

7月に入りジメジメした日が続いている中、ほのぼののデイサービスでは毎年恒例の七夕飾りで夏を迎えました。コロナ禍のモヤモヤした気分を吹き飛ばしてもらおうと、スタッフも準備に余念がありません。

短冊作りは、昔の人が織物の上手な織姫のように（織姫にあやかっ）、「物事が上達しますように」と、願い事をしたのが始まりだと言われています。

コロナの収束を織姫と彦星の力で叶えてもらえるよう、またみんなを悪いものから守ってくれることを願いながら、真っ直ぐ育つ笹に短冊を吊るして願いを天に届けました。

ほのぼののデイサービスの笹は、利用者様の願いが書かれた短冊でいっぱいになりました。

ほのぼののデイサービス・
スタッフ一同



願いが書かれた短冊で
いっぱいの七夕飾り

クロスワードクイズ 頭の体操??

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	8			16	19
			C			
2				13		B
		9	10		17	
	7			14		
			E			
3			11			20
4				15	18	
	A					
5			12			
				D		

ヨコのカギ

- 1 米の収穫作業の一つ。手で行うときは鎌を使います
- 2 家具などに使う籐（とう）のこと
- 3 アルファベットの9番目
- 4 フランス語で栗のこと
- 5 1位が金、2位が銀なら3位は
- 7 阿倍仲麻呂や吉備真備などがこの役を果たしました
- 9 鉄砲に込める物
- 11 チョキがはさみならグーは
- 12 ボール紙のことをこう呼ぶことも
- 13 釣りに使う透明な糸
- 15 宗谷、室戸、足摺といえは
- 16 何もすることがない状態です
- 17 喜・怒・哀・――

タテのカギ

- 1 中東の国の一つ。首都はバグダッド
- 3 台風に備えて閉めておこうかな
- 6 すしのしゃりにのせませす
- 7 9月の第3月曜日は――の日。国民の日です
- 8 難しくありません
- 10 町火消しが火事場で振った物
- 14 草木も眠る――時
- 16 夕方「カナカナカナ……」と鳴くセミ
- 18 ハウスミカんの生産量が日本一の県
- 19 鼻からあごまでを覆うように着けます
- 20 十五夜に楽しむもの



PRESENT

- ◆応募方法 ハガキに①答え②住所・氏名・電話番号③本誌に対するご意見・身近な役立つ情報などをご記入の上、下記あて先までご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に1,000円分の商品券をプレゼントします。
- ◆あて先 〒929-0326 津幡町字清水チ329 JA石川かほく「リバノス編集局」
- ◆応募締切 9月10日（消印有効） ◆当選発表 リバノス11月号

7月号クイズ当選者

〈答え〉 **サンダル**

- 山本 節子 さん
- 平田八重子 さん
- 山崎英美子 さん
- 素野 房恵 さん
- 上岸 英子 さん

1	カ	サ		11	ウ	カ	イ
2	ス	イ	カ		15	ミ	ン
	ミ		9	イ	12	タ	19
		ネ	コ	メ	16	イ	シ
3	ゲ	ン		13	ン	ツ	23
4	コ	ダ	マ		17	サ	29
5	ウ	イ	ン	ク		21	ル

第4回 理事会だより 令和3年7月27日(火)開催

●審議事項

- 第1号議案 令和3年度会計監査人との監査契約（電子契約）の締結について
- 第2号議案 令和2年度ディスクロージャー誌（情報開示）について
- 第3号議案 理事と組合との契約承認について
- 第4号議案 令和3年度理事報酬の配分について
- 第5号議案 第6次債権回収・整理計画（令和2年度～令和4年度）の取り組みについて
- 第6号議案 信用手数料徴収規程の一部改正について
- 第7号議案 農産物検査業務規程の一部変更について
- 第8号議案 令和2年度産米共同計算結果について
- 第9号議案 令和3年度産米共同計算の実施単位、収入・支出項目の設定について
- 第10号議案 令和3年度固定資産の処分等について

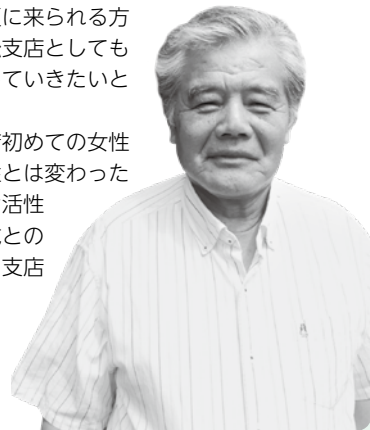
●報告検討事項

- (1) 各委員会の開催報告について
- (2) 令和3年6月末事業概況について
- (3) 令和3年度第1四半期監事監査結果について
- (4) 令和3年度第1四半期内部監査の実施報告について
- (5) 令和3年度第1四半期コンプライアンス関連事項の報告について
- (6) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項の報告について
- (7) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- (8) 令和3年度第1四半期余裕金の運用状況報告について
- (9) 令和3年度第2四半期余裕金の運用方針について
- (10) 令和3年度第1四半期組合員の加入及び脱退状況について
- (11) 令和3年度ライスセンター・カントリーエレベーター稼働計画について
- (12) 株式会社JAアグリサポートかほく事業進捗状況について
- (13) 経済事業体制検討会の報告について
- (14) 夏の農機・自動車商談会について
- (15) その他

支店活性化委員から、こんにちは!

地域との繋がりをアピール

高松支店活性化委員の坂井喜代則です。
同支店のある高松地区では「高松ぶどう」や「紋平柿」など、全国的にも有名な青果物が生産されています。市外や県外からも青果物を買って同地区に来られる方がたくさんいる中で、高松支店としても青果物をもっとアピールしていきたいと思っています。
また、今年度から同支店初めての女性支店長ということで、男性とは変わった知恵を出してもらい、我々活性化委員も協力しながら地域との繋がりをしっかりと作れる支店を作ってみたいです。



高松支店活性化委員
坂井喜代則

新たに就農された方や家庭菜園を行っている方など、JA石川かほくの正組合員になりませんか？

正組合員の 資格要件

- ✓ 農業を営む個人であって、当JA地区内に農地がある方（借地も可）
- ✓ 1年のうち30日以上農業に従事し、住所または農地が当JA地区内にある方

加入・資格変更の手続き → 最寄りの支店にてお手続きください。

届出事項の変更や相続等の手続きはお済みですか？

組合員届出事項や資格要件に変更が生じた場合は、届出が必要です。次のいずれかに該当する方は、最寄りの支店へお申し出ください。

- ✓ 届出されているお名前・ご住所等の変更
- ✓ 死亡・転居による資格の喪失
- ✓ 就農・離農による資格の変動 など

出資予約貯金の廃止に伴う手続きについて

当JAでは、「出資予約貯金」の取り扱いを中止することとしております。まだ手続きのお済みでない方は、最寄りの支店窓口にて出資配当金の入金先変更及び、出資予約貯金の解約等の手続きを行って頂きますようお願い申し上げます。

お問い合わせ JA各支店、または本店総務部総務課 TEL 076-288-3331

夏季の熱中症対策について

夏場の暑い中での作業は、熱中症を生じるおそれがあるので、次の事項に注意して下さい。熱中症の予防は、水分をとることと体温の上昇を抑えることが大事です。高齢の方は、特に注意してください。

1. 作業は気温の高い時間帯を外す。
2. 休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行う。
3. のどの渇きを感じる前に、水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を補給する。
4. 気温や湿度が高くなりやすいハウス等の施設内は特に気を付ける。
5. 帽子の着用、汗を発散しやすい服装をする。
6. できるだけ日陰で作業する。
7. 作業施設内の温度が上がらない工夫をするとともに、風通しをよくする。
8. 加熱された空気は屋外に排気するように。
9. 暑いときでも作業を行う際は、体調の変化等に気をつける。
10. 携帯電話を身につけ、緊急連絡先を登録しておく。



令和3年 秋期 農業用灯油・軽油の お知らせ

平素は当JA給油所をご利用いただき誠にありがとうございます。

10月31日まで
農業用灯油・軽油を受付いたします。

掛け売り(店頭・配達)の価格より

5円引き

※現金・クレジット価格よりの値引ではありません。

石川かほく農業協同組合給油所
津幡セルフ給油所 TEL 289-3221
宇ノ気給油所 TEL 283-5035

季節感あふれる 店舗づくり

8月に入り夏本番となりました。今年もみなさんが「夏」の訪れを感じられるような店舗づくりやコロナ禍ならではの飾りつけを紹介します。ぜひ夏を感じに、各店舗へ足を運んでみてください。

JAグリーン かほく

絵画コンクールの入選作品の絵が大きく展示されています。入口には大きなスイカやうちわなど飾り付けで夏らしくなっています。



内灘支店



暑い日差しに負けじとミニトマトがすくすくと生長しています。コロナの収束を願う「ほくの里」はマスクをつけて感染症対策をしながら、お出迎えしています。

津幡支店

「よりぞう」がペチュニアの中から顔を覗かせてお客様をお出迎え。中には夏を感じるたくさんのひまわりと元気いっぴいの松本支店長の似顔絵がキャンペーンをPR。



津幡東支店



外には朝顔が壁に沿って綺麗に咲いています。「よりぞう」が色とりどりの花火と一緒にお客様をお出迎えしています。

宇ノ気支店

旬を感じさせてくれる手作りのブドウとネギと一緒に、かほくの特産品の初出荷の様子が紹介されています。地元の旬のニュースもチェックできます。



高松支店



かほく市特産品の「高松ぶどう」を大きくPR。夏を彩った絵でがみも展示されています。